「水谷東公民館だより」が今月号をもって、創刊５００号を迎えました。
富士見市の公民館だよりは、昭和50年11月発刊の「南畑公民館だより」を皮切りに順次発刊。以来約半世紀の歴史を積み重ねてきました。その特徴である各地域全戸配布の原則と、地域住民による編集委員会体制は、近隣からも高く評価されています。
そこで今月号では、元編集委員の皆さんからの思い出話を中心として、５００号の歩みを振り返ってみたいと思います。

No.500　水谷東公民館だより
ひがし
編集　水谷東公民館だより編集委員会
発行　水谷東公民館
〒354－0013
富士見市水谷東２－１２－１０
TEL　０４８－４７３－８７１７
FAX　０４８－４７１－７５５５
E-mail:fkm-hi@krc.biglobe.ne.jp

祝！創刊
５００号記念

水谷東を綴って半世紀

～元編集委員さんは語る～

公民館だよりのカラー版をスマホで検索！

二番目の思い出　猪俣恵理子（２丁目）

編集委員になって少し経った頃、市内の公民館だより編集委員会合同の交流会を持ち回りで開催する話が持ち上がりました。初回は閉館後の館内の見学とお茶を頂く位だったのですが、回を追うごとにグレードアップして、一巡目の最後が我が水谷東公民館編集委員会となりました。料理は手作り、ベストな進行手順におもてなし、庭の桜の満開もみんなで祈りました。

足掛け１６年務めさせていただいた中で、二番目に思い出に残っていることです。

文化祭の思い出　井山千鶴子（１丁目）

東日本大震災のあった年から、お仲間に加えていただきました。柳楽編集長と委員の皆さま、館長、職員の方のお力添えで、充実した６年間でした。

印象深いのは、水谷東文化祭に震災復興支援コーナーで参加したこと。委員会で宮城県東松島市の特産品や、手作りのアクリルたわしなどを販売し、売上と寄付金を送りました。「売れ残るかな？」と心配になっても、人情に厚いのが水谷東。毎年完売して、東松島の方に喜んでいただけました。

気軽に集まることが難しいご時世に、町会や世代の垣根を越えて紙面で繋がれる「ひがし」は貴重な存在。これからも楽しみにしています。

水谷東の広報紙として　柳楽光廣（前編集長・榎町）

私が公民館だより編集委員会に参加し、初めて「編集後記」の小文を出稿し審議された時のこと。文章全体の構想は変わらないものの、最初から最後まで添削・赤ペンの洗礼を受け、悔しい思いをするほど作文の難しさを体験しました。

あれから２０年、今やスマホの全盛時代。ろくに操作できぬ老人は消え去るのみです（笑）。長い間ご協力いただいた公民館をはじめ関係者の皆様へ厚くお礼申し上げます。

「ひがし」公民館だよりも創刊５００号。これを機にますます水谷東地域の広報紙として価値を高め、充実した内容で皆様へお届けすべく頑張り続ける後輩たちの健康と幸せを祈っています。

＜編集委員会ミニミニデータ＞

☆歴代編集委員　６９名
　○町会別内訳　１丁目　１３名
　　２丁目　２３名
　　３丁目　２２名
　　榎　町　１１名
　○男 女 比　１７名：５２名
☆歴代編集長（敬称略）
　初代　宇田川弥七（２丁目）
　２代　一杉三喜恵（１丁目）
　３代　門脇一生（１丁目）
　４代　大村政一（２丁目）
　５代　柳楽光廣（榎　町）
　６代　上原みつ子（３丁目）

自由な語らいの場　神保文子（１丁目）

私は公民館だより４１号（１９８３年１１月号）で、「初代ミス富士見」に選ばれた方へインタビューして記事を書きました。近所の方がミス富士見に選ばれたことを知り、とても嬉しく誇らしく思ったからです。「夢のよう」と語ってくれました。

あれから４０年。あれは何だったのでしょう。若い女性の容姿や人柄を比較して順位をつけるのはいかがなものかと思うようになりました。

あの頃の編集委員会は自由な語らいの場、学習の場でした。その時は気がつきませんでしたが、感慨深く思います。

編集委員の思い出　野呂泰子（３丁目）

水谷東公民館だより創刊５００号おめでとうございます。私は平成４年から８年まで編集委員としてお世話になりました。

柳瀬川や新河岸川散策、消防署の取材等、普段行くことのない所を取材する楽しさ…最近の公民館だよりを見ながら当時のことを懐かしく思い出します。特に、柳瀬川を所沢の近くまで歩いた時、鵜（ウ）が川の中に潜り魚を捕る様子に感動したり、担当職員の手書きによる公民館だよりを受け取るたび、その温かさに心が和んだこと。当時の門脇編集長や小河原編集委員の原稿に向き合う姿勢は勉強になりましたし、大好きでした。これからも楽しみにしています。

創刊５００号を迎えて　上原みつ子（現編集長・３丁目）

公民館だより「ひがし」は創刊以来４３年目。このたび５００号の節目を迎えました。当初は水谷公民館との合同編集委員会による「水谷地区公民館だより」が昭和５１年１０月から隔月で発行され、昭和５４年７月から「水谷東公民館だより」として独立。その２年後に毎月発行となりました。約１０年前から紙面作成に「ＰＶクラブ」も参加、公民館も含めた三者で編集・発行に努めています。

編集委員会の活動内容は、見学・取材・原稿依頼や受け取りなどを踏まえ、月２回の定例編集会議を公民館で行っています。原稿や紙面レイアウト校正の合間の雑談を大切にしています。会議中の井戸端会議から面白い企画のアイデアが生まれることも多々あるのです。

私たち編集委員は地域住民の皆さんから気軽に読み親しんでいただけますように、水谷東に関する情報収集や取材の他、日常生活や社会問題にも目を向けながら紙面づくりに努めてきました。そして多くの方々から支えられ、激励を頂きながら取り組んでまいりました。厚く御礼申し上げますとともに、これからも「ひがし」をよろしくお願いいたします。

現編集委員会です

ひがしの窓　１１月

1	火	水谷中	全校三者面談（～9日）
5	土	榎町町会	資源回収・定例会
6	日	3丁目町会	防災広場完成記念行事
8	火	第2保育所	もちつき
10	木	3丁目町会	にこにこサロン
11	金	地区社協	町会別昼食会（～13日）
12	日	1丁目町会	班長・役員会
15	火	水谷東小	開校50周年記念式典
		水谷中	開校記念日
16	水	水谷中	期末テスト（～17日）
17	木	水谷東小	学校運営支援者協議会
18	金	1丁目町会	サロン青空
		2丁目町会	ふれあいサロン「縁側」
19	土	3丁目町会	定例理事会
23	祝	1～3丁目町会	イルミネーション設置
26	土	ふれあい会	町内清掃
27	日	1丁目町会	防災委員会
		2丁目町会	町会常任委員会
28	月	水谷東小	授業参観・保護者会（～30日）

※この予定表は10月5日現在の予定です。詳細は各団体・機関に問合せください。

公民館の利用について

【１月分の利用受付】

◎予約システム抽選申込期間
１０月１５日（土）～３１日（月）

◎抽選日（自動抽選）
１１月１日（火）

◎抽選結果の確認期間
１１月１日（火）～４日（金）

◎窓口受付開始日
１１月７日（月）午前９時～

◎システム仮予約受付開始日
１１月８日（火）
※仮予約の有効期限（１５日間）にご注意ください。

【１１月の休館日】
１１月２１日（月）

【公の施設利用制限について】
●引続き感染予防対策の徹底にご協力をお願いいたします。

水谷東ふれあいサロン情報

●ホッと安心健康相談
日時：１１月１０日（木）午後１時３０分～３時３０分

●水谷東子育てサロン
日時：１１月９日（水）午前１０時～１１時３０分
♫ パネルシアター他（出演：秋元節子さん）

●ふれあいサロン開放日
日時：１１月２・９・１０・１６・１７・２４・３０日（水・木）午後１時３０分～４時

＜訂正とおわび＞
先月号２面「ＴＮＲご協力のお願い」に掲載した「富士見さくらねこ応援団」竹内さんの問合せ先電話番号が誤っていました。下記の通り訂正並びにおわび申しあげます。
（誤）090-5173-9887➡（正）080-5173-9887

熟年学級１１月全体会　※公開講座です

日　時／１１月１０日（木）午前１０時～１２時
会　場／水谷東公民館多目的ホール
テーマ／免疫力アップの食生活を知ろう
講　師／富士見市健康増進センター管理栄養士
主　催／熟年学級運営委員会・水谷東公民館

音楽の夕べ&イルミネーション点灯式

日　時　１２月３日（土）午後４時～５時３０分
出　演　１丁目ハーモニカクラブ「オールドダックス」
定　員　６０名　※１１月４日（金）から先着順です。
申込み・問合せ　水谷東公民館
（☎ 048-473-8717）
主　催　水谷東４町会・公民館

思い出の場所　気になる所　No.91

常盤台商店街

私は５人兄弟の長女として生まれ、それがまさしく運命であったと感じています。

人は「努力」と「運」が半々だと言いますが、次女として生まれてきたならばまた少し違った人生を歩んだかもしれないと思います。

東武東上線ときわ台駅前の商店街あたりに結婚するまで住んでいたので、そこを通るたびに母の夕食の支度をいつも手伝っていたことを思い出します。

今では代が変わった商店街を、当時の家族や友人を、主人も知らない昔を懐かしく想うのです。

渡辺　璋子（１丁目）

記念式典が盛大に開催されました

９月１８日（日）水谷東２丁目防災会「特別防災隊」発足２０周年式典が開催され、永年にわたり地域防災活動に尽力された川上伸夫氏・高村稔氏・福本郡司氏・沼田眞氏・阿部正氏に感謝状が贈呈されました。

１０月２日（日）には水谷東安心まちづくり協議会発足１０周年記念式典が開催され、水谷東地域支え愛隊隊長の川上伸夫氏に表彰状、さくら記念病院院長の黒澤範夫氏に感謝状が贈呈されました。

まち協記念式典より

統計ひがし　（R4.8.31現在）

町会	世帯	人口	男	女	増減
1丁目	441	902	445	457	−5
2丁目	1,012	2,156	1,025	1,137	−8
3丁目	1,015	2,101	1,075	1,026	−1
榎　町	278	543	256	287	2
合　計	2,746	5,702	2,801	2,907	−12

※増減は前月（R4.7.31）人口比です。

11月の展示

フォトサロン写楽水谷東
写　真　展
2階　展示ギャラリー

レシピ帳

木村由里子（3丁目）

先日、亡き母のレシピ帳を開いてみることにしました。

今までろくに読んだこともありませんでしたが、子どもの頃に作ってもらったアイスが懐かしくなってしまったのです。

材料は牛乳と砂糖と卵で間違いないはずですが、なぜか妙な粘り気があって、それがわからなかったのです。

レシピ帳の中には、昭和46年から50年の新聞の切り抜きと料理番組のメモ。黒豆の煮方やラッキョウの漬け方に混ざって、なぜかインドのチャパティの作り方まであります。

目当てのアイスのページはひどい状態で字もにじんでいて読みづらく、よく使われていたのがわかります。粘り気の正体はゼラチンでした。

牛乳と砂糖を火にかけ煮とかし、ゼラチンを加える。溶いた卵黄に注ぎよく混ぜ冷めてとろりとしてきたら泡立てた卵白を加えて冷凍室へ。できあがったものはまさしく幼いころの夏の楽しみだったあのアイス。

何十年ぶりかの懐かしい味に、あの頃できなかった「ボウルごと独り占め」をつい実行してしまった私でした。

coffee time

文化祭

９月上旬、息子の通う高校の文化祭へ行ってきました。一般公開されており、先生・生徒・来校者も大盛り上がりでした。

校舎には射的やヨーヨー釣り、輪投げなどたくさんのコーナーがあり、中学３年生の娘も楽しめたようです。私は映像制作部の「聞いて。」という作品を拝見し、８分間という短い映像で台詞もほとんどありませんが、文化祭に来ていることを忘れてしまうほど見入ってしまいました。

「ＬＧＢＴ」とか「性は多様である」とか頭で理解するのは難しいけれど、まずはいつでも聞く耳を持っていたいと素直に思える素敵な作品でした。

学級閉鎖のため初めての文化祭に参加できなかった息子に、来年はぜひ楽しんで、盛り上がって欲しいと願うばかりです。

小野寺編集委員